

天候戦争：グローバリストが気象操作の“恐怖と威圧”による米制圧を指令

究極のニセ旗作戦：母なる自然を大量破壊兵器に仕立てる

【訳者注】9月23日（秋分の日）あたりから10月の終わりころまでに、アメリカの歴史を左右する重大な出来事が起こるとするのは、信じてよさそうである。別に予言者でなくても、今のような状態がこのまま長く続くとは思えない。これがテキサス州から起こるかどうかは分からないが、その可能性は大と見てよいだろう。それに対してはまず戒厳令（martial law）が考えられるが、それは国家の二分ということにつながっていくだろう。

最新の GeoengineeringWatch 情報：<http://www.geoengineeringwatch.org/hurricane-irma-manipulation-objectives-and-agendas/>

State of the Nation

September 4, 2017



高度化された戦争：HAARP
天候兵器

これは名目上“高周波活性オーロラ研究プロジェクト”——研究のための施設ということになっている。

特別報道：「ハリケーン“アーマ”は非常に強力で、すでに地震計に現れ始めている」

<http://stateofthenation2012.com/?p=83174>

2001年9月11に仕組まれたニセ旗テロ攻撃を例外として、政府の援助による天候戦争と環境テロリズム行為は、特別により致命的で破壊力をもっている。

現在の推計による、ハリケーン「ハーヴィ」がテキサス州に与えた損害だけでも、すでに1,800億ドルと推計されていることを考えてみよ。災害資本主義のための好機は、天候戦争決定の過程において、常に重要な役割を果たしてきた。同様に、捕食資本主義はしばしば、環境テロリズムという露骨な行為を犯させる、動機になってきた（例、メキシコ湾原油流出事故）。

「ハリケーン“ハーヴィ”による被害額は1,800億ドルになる可能性」

<http://stateofthenation2012.com/?p=83046>

ハーヴィが、テキサス海岸に誘導されてきたものであると、誰でも知っている現在、アーマ（Irma）も同様に、（まだわからない）特別の目標に向けられているだろうと、一般に理解されている。国民の話題がこれほど速やかに、人工の超大型ストームに転換したということは、**大変大きな出来事**である。なぜなら、ある限界以上の数のアメリカ人が、これらのスーパーストームは、ハリケーン・シーズンに自然に発生した、より小さな暴風雨から気象操作されて（geoengineered）出来たものだと思ったとき、初めて、それらを終わらせるに十分な意識が高まるはずだからである。

気象操作によって“恐怖と威圧”作戦（Shock and Awe）が行われるとき

ハーヴィを操作してテキサス州に導くのに用いられた天候兵器技術は、実は非常に単純なものだ。気象操作の技術は、芸術の域と言ってもよいほど高く発達していて、納税者が聞かされているようなものではない。化学気象操作は数十年も前から行われてきたが、ケムトレール作戦の能力は9・11以来、劇的に飛躍している。同様に、必要とされる HAARP 技術は過去10年間にかなり高度化した。

肝要の点は何か？：NWO グローバリストは暴風雨をつくり出し、天変地異的なスーパーストームにまでギアアップし、事実上、彼らが望むどこへでもそれを指し向けることができる。それだけではなく、彼らは、その方向、スピード、雨を作り出す能力を、必要なボタンを押すことで自由に選ぶことができる。ハーヴィの場合もまさにこのやり方だった——次のビデオが示すように：

「気象操作されたハリケーンは、まさにこのように見える」（ビデオ）

<http://stateofthenation2012.com/?p=82994>

ハーヴィは現実に、ぐるぐる旅をし、次にヒューストンのすぐ隣に、永遠と思われるくらい長くとどまるように操作された。もちろん、その後起こったことは誰でも知っている——2017年に起こった千年に一度の大洪水である。そこで起こった聖書的洪水が、“恐怖と威圧”作戦としてつくられたものだというだけでなく、それはアメリカ人民に向けて計画された、日食後の初めての大災害だった。アーマは、彼らの兵器化された天候アジェンダの、次の予定に入っていると思われる。

多くの人がこの天候戦争のシナリオを疑っているようだが、衛星写真や他のさまざまな観察された兆候が、すべて同じ結論を指している——ハリケーン「ハーヴィ」は気象操作によるストームだった。この気象学的ドラマをコントロールする者たちは、ハーヴィが着陸する前の日に、テキサスで雲の種まきを行っていた。「公的な雲の種まきが8月24日、テキサス郡で申請された」<http://stateofthenation2012.com/?p=82809>

ハーヴィの場合には、あまりにも多くの古典的な気象操作の証拠が存在するので、それは将来の人工スーパーストームを見分ける、黄金の基準になったほどである。NASA自身の衛星ビデオでさえ、明らかな証拠となる気象操作技術のいくつかを捉えている。次の説明がはっきり示しているように、ハーヴィがユカタン半島に上陸した直後に、大きな外からの力が働いて、それを強力なハリケーンに蘇らせている。陸にぶつかることで通常は、その流れの力は弱まるが、ここを見ていただきたい：「衛星は、ハーヴィがハリケーンへと蘇ったことを示している」（ビデオ）<http://stateofthenation2012.com/?p=83050>

ハリケーン「アーマ」

現在ハリケーン「アーマ」が、その形成以来、極端に攻撃的な様相を見せている。アーマの場合には、大西洋を横切る旅のどの時点かで、カテゴリ4へと全く意図的に強化された様子が見られた。進行の跡を示す Navy Map は、人工の伝達爆発の場合にのみ起こりうる、アーマについての、いろいろな HAARP 異変を示している。下の投稿のスクリーンショットは、これら作為を示す伝達を燃える色で捉えている。

「大きな HAARP の周波数伝達が、大西洋と太平洋の上部に現れている」

<http://themillenniumreport.com/2017/09/major-haarp-frequency-transmissions-showing-up-over-atlantic-and-pacific-oceans/>

実は、ここまでのアーマについてのすべてが、平均的な大西洋生まれのハリケーンとは違っ

ている。その最初からの独特の振舞いが、意図的な天候操作としてしか説明できない、いくつかの理由によって、それを特別なものになっている。暴風雨を作るのに、HAARPを通じて人間の手が介入したことを反映する、微妙な兆候もあれば、劇的なしるしもあって、そのいくつかは、それを物語る次のビデオに見ることができる：「Navy Map は、惑星全体が HAARP の異常性に覆われていることを示している」 <http://stateofthenation2012.com/?p=82989>

天候をコントロールする者たちが、北米のある特別の地域をテロ攻撃しようとする意志が強い時には、その最終的な目的が、非常に強い意味をもつことは確実である。例えば、ハーヴィが東部テキサスにぶっつけられたことには、多くの見え透いた理由がある。（このリンクを見よ：「最初にハーヴィ、次にアーマ」 <http://stateofthenation2012.com/?p=82843>）アーマの究極的な狙いは、New World Order アジェンダを、さらに確実に完成させることであろう。それは間違いない。特にトランプの、非常に非協力的な大統領政権を考えてみれば、グローバリストたちはが、何がなんでも、必死になって事態を元の状態に戻そうとするのは当然である。

権力者たちは、トランプを、パリ協定の定めた気象変化合意の檻の中に閉じ込めておくためには、可能などんなことでもやろうと決意していると思われる。彼らのすべては——国連も EU 官僚も——怒りで唇を真っ青にしている。それくらい彼らは、トランプが彼らのパリ・パレードに雨を降らせたことに腹を立てている。法王や総大司教までが、駆り出されて大統領へのメモを書くように要請されている。もちろん現在、世界中が、トランプの歯に衣を着せず真実を語る、独立した大胆な行為に対する、陰謀団の復讐を目撃している：「NWO 陰謀団は、CO2 地球規模気象変化というペテンを推進するために、Harvey と Irma を使っている」 <http://stateofthenation2012.com/?p=82843>

2017 年の秋

2017 年の晩夏と秋は、米国史を決定する時期だと早くから予言されていた。これにはいくつかの理由があるが、この論文の扱える範囲を超えている。ただ、今から 10 月の終わりまでの間に、いくつかに異常な出来事が見られ、大きな艱難を経験するだろう、とだけ言っておこう。ハーヴィはそれらの一つの例にすぎない。

支配者陰謀団が、アーマによって、何か大きなことを企んでいる可能性はかなり高い。それとも、彼らの気象操作実験所で、別の恐ろしいスーパーストームが計画されているであろう。今のように物事が積み重なった現状から考えると、アーマは、どちらの海岸を襲うかによるが、9・11 規模の出来事として利用される可能性がある。このようにして、タービン発電式のハリケーンは、現実的に巨大なニセ旗攻撃になる（スーパーストーム侵略と言ってよ

い)。問題のない小さなストームが、気象操作技術者によって、大規模な怪物ストームに変形させられたとき、“母なる自然”がその犯人にされる。ニセ旗がこれまでにあったとすれば、これこそまさにニセ旗である。



ハリケーン「アーマ」の進路予想図

今日が9月4日だとすると、月曜日9月11日までには、アーマは、アメリカ本土の近くの誰かの、戸を叩いている可能性が大きい。したがって、すべての居住者はアーマの方向と発達に、細心の注意を払う必要がある。過去によくやったように、彼らはこれらのメガ・ハリケーンを、いくつかに分けて解き放つかもかもしれない。2005年には3姉妹——カトリーナ、リータ、ウィルマ——がメキシコ湾岸州を襲った。2004年にはフロリダが、4つの大きなハリケーン——チャーリー、フランシス、イヴァン、ジーン——を経験した。

ここで重要な点は、気象操作技術者たちが、非常に活動的なシーズンに、仕事を合わせられてきたことである。ただ“活動的”というのは、2017年に関しては“壊滅的”というべきである。アメリカ人民は、可能なあらゆる手段、どんな手段によってでも、社会的に操作されている。スーパーストームから生ずる PTSD は、NWO の道具箱の道具の一つにすぎず、グローバリストはそれを、彼らのアジェンダの要求に応じて、合意をつくり出すために利用するだろう。

究極のニセ旗

怪物ストームを母なる自然の罪にするニセ旗テロほど、危険なことがあるだろうか？ これらのスーパーストームが、都市のすべてを破壊し、人々の住みかを奪うだけではない。それらは政治的なアジェンダを引き継いで、さらに多くの合理的な優先事業をリストの先まで押し進める。これはまさに、この地球を通じて、理由のない侵略戦争が仕掛けられるとき

に、起こっていることと同じである。ただ緊急を要する場合には、天候戦争や環境テロは予算を本当に食ってしまう。

しかしこの場合、剣は明らかに諸刃の剣である。誰でも「母なる自然を弄べば、ろくなことにならない！」ことをよく知っている。だから遅かれ早かれ、気象操作犯罪者たちは、それだけの報復を受けることになる。天候に関して神を演ずる者は、その報いとしてどんな最後が待っているかしのれない。そしてこの種のカルマは、彼らが最も予期しない時に、彼らの脳天を一打ちすることがよくある。

ある理由で、これら天候戦士や、彼らと共謀する他の気象操作技術者たちは、自分たちはそのような報復に遭うことはないと思っている。彼らは、地下の隠れ家や、高い城のような所や、ぜいたくなヨットなどをもっているから、自然の力に対して負けはしないと思っている。しかし究極的には、あらゆる者が、それに応じた報いを受けることになる。

このような天候の悲劇が連続することによって、ますます多くの人々が、自分たちは天候操作の犠牲者になっているという事実が目覚めつつある。テキサスの偉大な人々は、この地球的なキャンペーンを先導して、我々の天候を、絶え間ないケムトレールによってそれを盗んだ者たちから、取り戻すのに成功されるであろう。「テキサスは、ハリケーン“ハーヴィ”の攻撃を利用して、気象操作をやめさせるのに成功するだろうか？」

<http://stateofthenation2012.com/?p=82296>

結論

アーマがそのコースを点でつない進むとき、アメリカ南部に住む人々は、この秋の期間の間、展開する天候の出来事すべてに、よくよく気を付けるべきである。9月11日に関しては、我々の戸口までやってきた全面天候戦争について、十分に用心すべきである。この現実について知識をもつ人が多いほど、世界中で進行中のこの天候戦争が、完全に中止される可能性が大きい。例えば、目を開いている人々には、この暴露記事が送られてくるだろう：

「クローバーリーフ作戦：西洋史上、最も危険な兵器テスト計画」

<http://themillenniumreport.com/2015/08/operation-cloverleaf-the-most-dangerous-weapons-testing-program-in-world-history/>

または、<http://stateofthenation2012.com/?p=10890>

この困難な現状では、知識こそ、すべての人々が手に入れることのできる力である。気象操作真相運動は、この死命を制する知識を広めることから始まるであろう。

最後に、Harvey とか Irma という命名から、これを選んだのが誰であるのか、またその意図がおよそわかる。古代ゲルマン語で、Irma は War Goddess (戦争の女神) であり、Harvey は Battle Worthy (戦うに値する) である。

